

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

評価基準

満期保有目的の債券 . . . 原価法により評価している。

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社

株式以外の有価証券のうち市場価格のあるもの . . . 時価法により評価している。

上記以外の有価証券 . . . 償却原価法により評価している。

評価方法 . . . 総平均法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 . . . 期末退職給与の自己都合要支給額の100%を計上している。

2. 会計方針の変更

該当事項なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	408,659,564			408,659,564
建物	50,038,500		370,000	49,668,500
定期預金	28,113,417			28,113,417
建物減価償却引当特定預金	7,080,000	370,000		7,450,000
投資有価証券	93,685,620		369,000	93,316,620
小 計	587,577,101	370,000	739,000	587,208,101
特定資産				
土地		40,982,028		40,982,028
建物		3,387,844		3,387,844
定期預金		30,000,000		30,000,000
投資有価証券		50,591,152		50,591,152
構築物		2,791,583		2,791,583
若葉奨学金預金	0	7,161,177	0	7,161,177
小 計		134,913,784		134,913,784
合 計	587,577,101	135,283,784	739,000	722,121,885

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	408,659,564	()	(408,659,564)	()
建物	50,038,500	(22,038,000)	(28,000,500)	()
定期預金	28,113,417	()	(28,113,417)	()
建物減価償却引当特定預金	7,080,000	()	(7,080,000)	()
投資有価証券	93,316,620	(83,316,620)	(10,000,000)	()
小 計	587,208,101	(105,354,620)	(481,853,481)	()
特定資産				
土地	40,982,028	(40,982,028)		
建物	3,387,844	(3,387,844)		
定期預金	30,000,000	(30,000,000)		
投資有価証券	50,591,152	(50,591,152)		
構築物	2,791,583	(2,791,583)		
若葉奨学金預金	7,161,177	(7,161,177)		
小 計	134,913,784	(134,913,784)	()	()
合 計	722,121,885	(240,268,404)	(481,853,481)	()

5. 担保に供している資産

該当事項なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	16,162,841	8,866,140	7,296,701
山林	214,482,135		214,482,135
備品	44,175,499	27,502,925	16,672,574
構築物	1,560,000	1,170,000	390,000
新会計ソフト	577,500	413,875	163,625
合 計	276,957,975	37,952,940	239,005,035

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収入金			
貸費学資金	198,597,000		198,597,000
合 計	198,597,000		198,597,000

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項なし。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
山形県みらい債（基本財産）	10,000,000	10,000,000	
日本生命	20,000,000	20,000,000	
三菱商事	20,000,000	20,000,000	
三菱東京UFJ銀行	10,000,000	10,000,000	
仙台市公債	10,000,000	10,000,000	
オリックス	10,000,000	10,000,000	
クラゲドリーム債	2,000,000	2,000,000	
クラゲドリーム債（特定資産）	1,000,000	1,000,000	
合 計	83,000,000	83,000,000	

10. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
文化財管理費補助金	山形県	0	208,000	208,000	0
〃	鶴岡市	0	104,000	104,000	0
間伐事業補助金	村上市森林組合	0	614,278	614,278	0
合 計		0	926,278	926,278	0

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
特定資産（構築物）減価償却費計上による振替額	345,000
合 計	345,000

12. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし。

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

13. 重要な後発事象

該当事項なし。